

【森町】 校務DX計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. 校務系及び学習系ネットワークの統合

森町ではこれまで、教育ネットワークを児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と、児童生徒・教職員が教育活動で利用する「学習系」の2つに分離し、インターネット経由等から児童生徒の個人情報等にアクセスできない構成としている。そのため、校務用と学習用それぞれの端末を用意している。

今後、教職員の働き方改革と教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストセキュリティの考え方にに基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じたうえで、校務系・学習系ネットワークの統合について調査研究を進める。

2. 校務支援システムのクラウド化

現在、校務支援システムについては、一部の学校がオンプレミスで運用しており、学校現場において教務・保健・学籍・成績管理など様々な校務で利用している。令和7年度中にすべての学校をクラウド化する。

今後、教職員一人一人の事情に合わせた柔軟かつ安全な働き方を可能とするため、アクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、ロケーションフリーで校務系・学習系ネットワークへ接続可能な環境の整備を検討していく。

3. FAX・押印の原則廃止

FAXと押印の原則廃止は、校務の効率化、ペーパーレス化、教職員の働き方改革を達成するための重要な要素となる。災害や教育ネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等により効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、各関係機関及び学校と関わりのある事業者に対して、教育委員会から慣行の見直しを依頼するなど、継続的に働きかけを行う。

4. セキュリティポリシー策定

クラウド上のデータやクラウドサービスを活用することを前提とした教育情報セキュリティポリシーについては、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」等により文部科学省より示された方向性を確認し、現状を把握しながら策定する。